



DatawayOneシリーズ
設定プログラム

DWO-Manager

オペレーション マニュアル

Rev.1.02

この取扱説明書はDWO Manager Ver1.01に対応しています。



日本制御機器株式会社
JAPAN CONTROL ENGINEERING CO., LTD.

はじめに

本書では、DatawayOneシリーズの本体用設定ソフト、「DWOManager」の概要、構成、およびインストール手順、操作方法について説明しています。

- ・本ソフトウェアの仕様、および本書に記載されている事項は、将来予告無しに変更する場合があります。
- ・本書の全部、または一部を無断で使用、複製することは禁止されています。
- ・本ソフトウェア、および本書を運用した結果の影響については責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- ・Microsoft、Windows、VisualBasicは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・GrapeCityは、グレープシティ株式会社の登録商標です。
- ・SPREADは、米国 FarPoint Technologies社の商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

安全にご使用いただくために

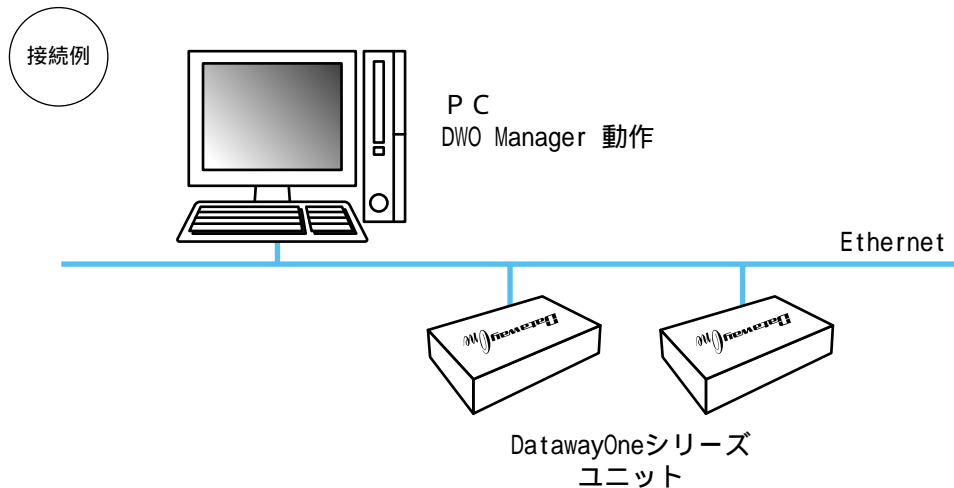
CD-ROM (DWO-Manager) の 取り扱い上の注意	⚠ 注意	CD-ROMの上に物を置いたり曲げたりしないでください。CD-ROMドライブにて読み込みをするとCD-ROMドライブの故障や破損に繋がります。
		シール、ラベル等を貼らないでください。CD-ROMドライブにて読み込みをするとCD-ROMドライブの故障や破損に繋がります。
		強い衝撃を与えたり、傷をつけないでください。CD-ROMドライブにて読み込みをするとCD-ROMドライブの故障や破損に繋がります。
PC使用時の 健康上の注意	⚠ 注意	1時間の作業につき約10分程度の休憩を設ける、軽い体操を行うなど、気分転換をはかることを心がけてください。また、目の健康のため、長時間の使用はなるべく避けてください。

1	システム概要	4
1.1	概要	4
1.2	ソフトウェア動作条件	4
2	ソフトウェアのインストール	5
3	DWOManagerプログラムについて	7
3.1	プログラムの起動	7
3.2	操作ウィンドウ	8
3.2.1	メニューバー	8
3.2.2	パラメータ設定画面	9
3.2.2.1	パラメータ表示部	10
3.2.3	ファームウェア書換え画面	11
3.2.3.1	パラメータ表示部	11
3.3	プログラム操作方法	12
3.3.1	設定パラメータの変更	13
3.3.2	ファームウェア書換え	15
4	製品サポート	20

1 システム概要

1.1 概要

本ソフトウェアは、イーサネット経由でDatawayOneシリーズ製品のパラメータ設定を行うことができます。
 また、ファームウェアの書き込みを行い、ユニット内ファームウェアのバージョンアップを行うことも可能です。



1.2 ソフトウェア動作条件

項目	内容
対応OS	Windows98 / Me / NT4.0 (SP4以上) / 2000 / XP
LAN環境	10BASE-T / 100BASE-TX TCP / IPが動作している事

⚠ 注意事項

本プログラムはMicrosoft VisualBasic6.0及び、GrapeCity製SPREAD3.0Jを用いて作成されております。
 従って旧バージョンで作成されたプログラム等がインストールされている環境に本プログラムの
 インストールを行うと、そのプログラムが正常に動作しなくなる場合があります。

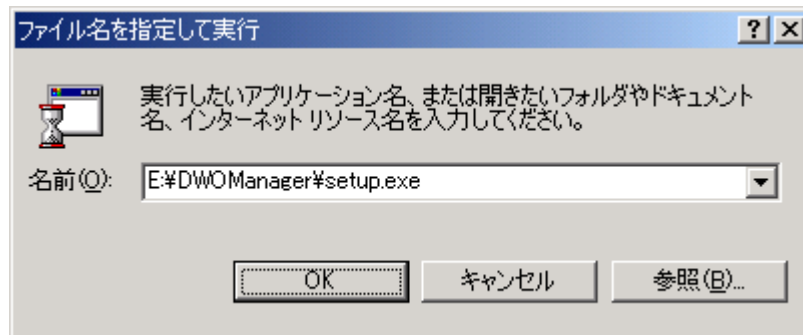
2 ソフトウェアのインストール

コンピュータの電源を投入し、Windowsを起動します。

本CD-ROMをセットします。

Windowsの「スタート」ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選択します。

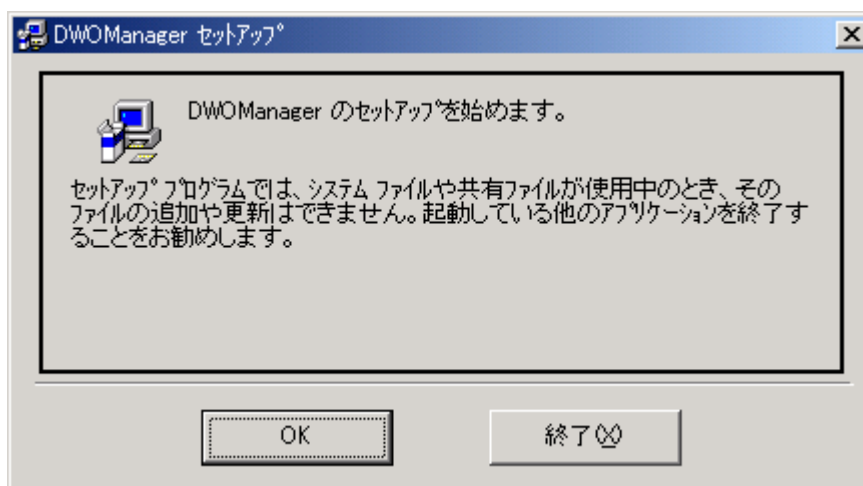
表示されたダイアログに、セットしたドライブ名と実行ファイル「setup.exe」のパスを指定し、「OK」ボタンを選択します。



セットアップの開始画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択します。

その際、他に起動中のアプリケーションがあれば終了させておいてください。

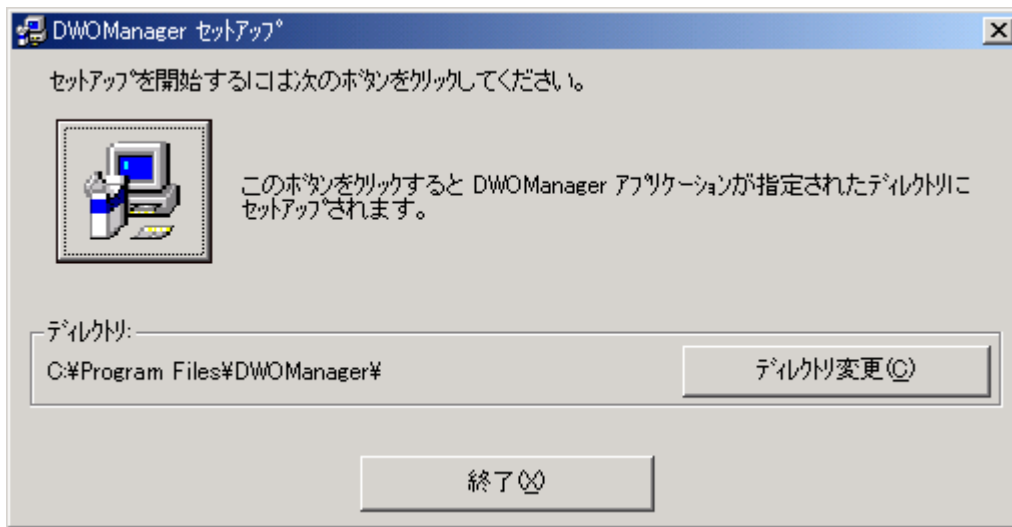
ファイルが正しくコピーされない場合があります。



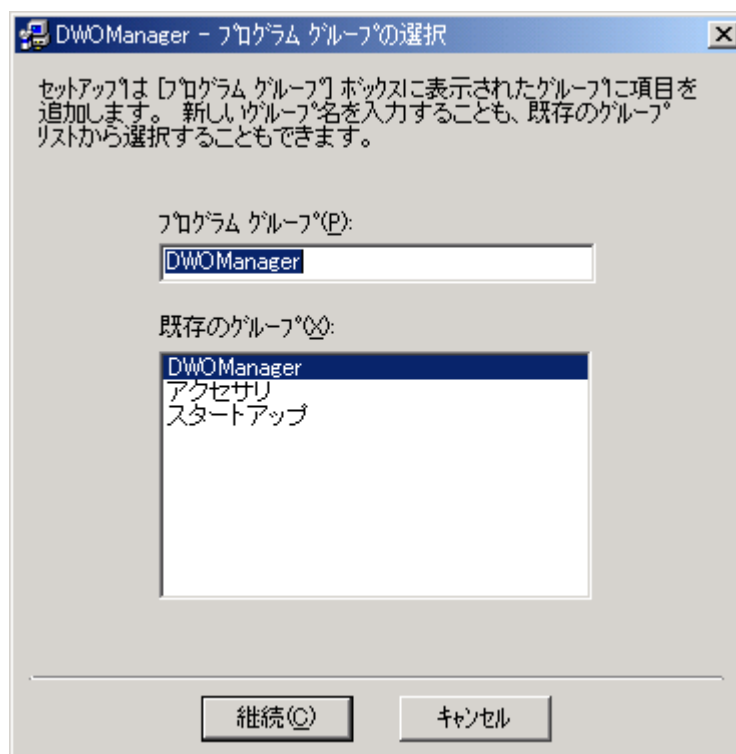
注) セットアップが開始された際に、システムファイルの更新を促す画面が表示される場合があります。

更新して良い場合は、そのままシステムファイルを更新してセットアップを続けてください。

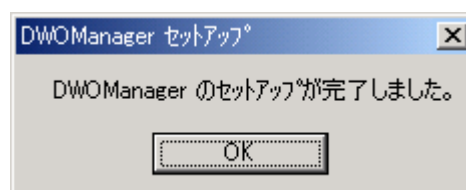
インストール先のディレクトリを確認します。そのままよければアイコンボタンをクリックしてください。



プログラムグループへ登録を行います。変更する必要が無ければ「継続」ボタンをクリックしてください。



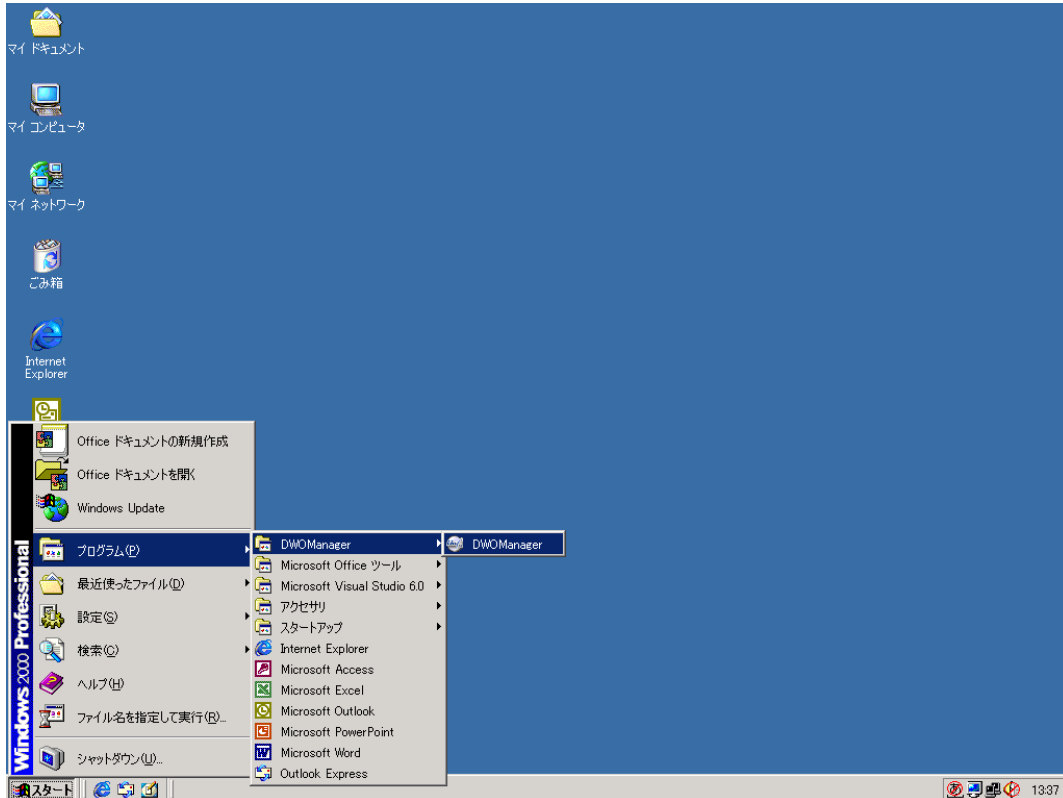
「OK」ボタンでインストール完了です。



3 DWOManagerプログラムについて

3.1 プログラムの起動

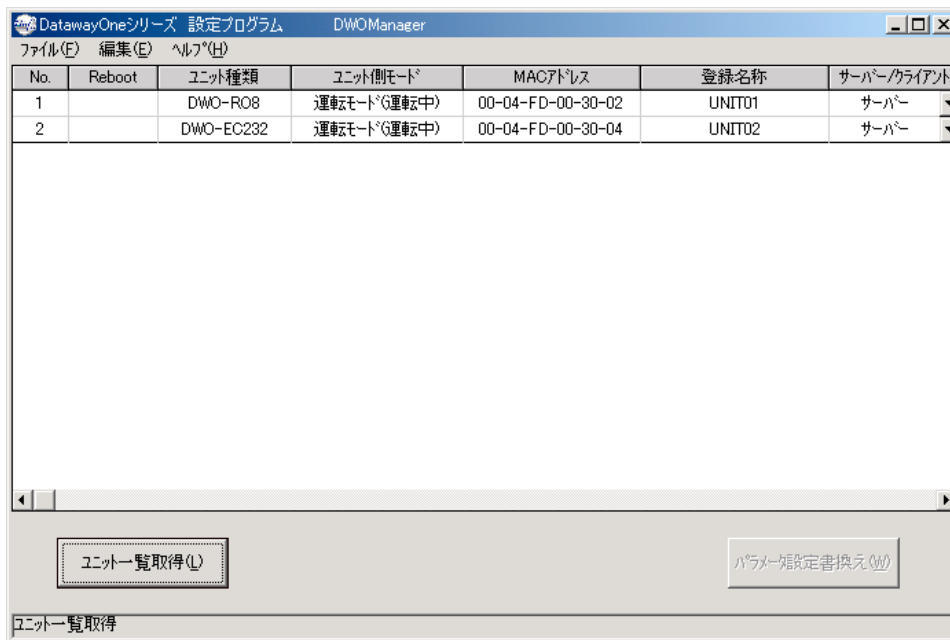
スタートメニュー内の「プログラム」から「DWOManager」を選択します。



3.2 操作ウィンドウ

操作ウィンドウには、ユニットの運転パラメータの設定を行う「パラメータ設定画面」、ユニットのファームウェア書換えを行う「ファームウェア書換え画面」の2つがあります。

本プログラムを起動すると、メインウィンドウ（パラメータ設定画面）が表示されます。



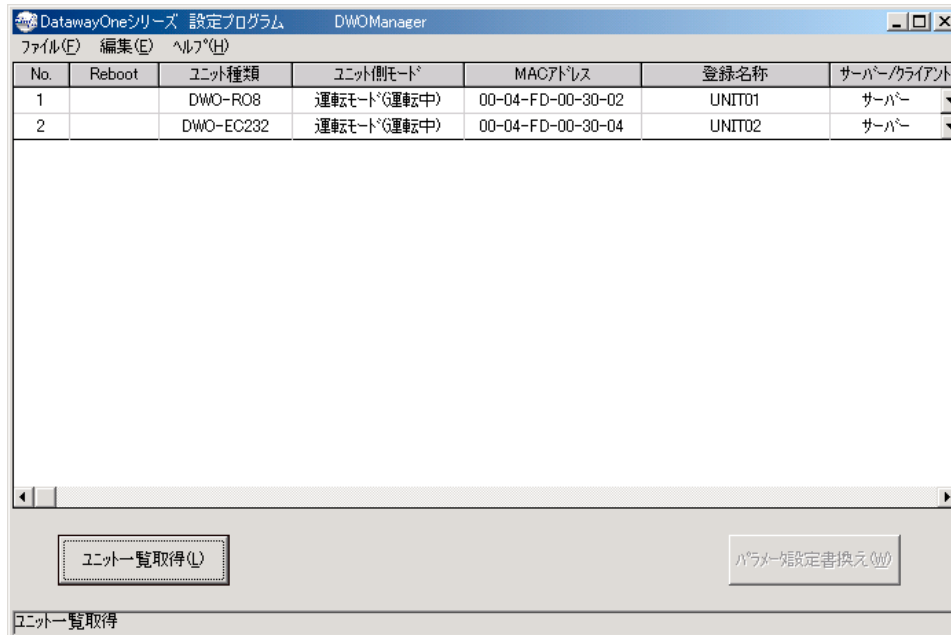
3.2.1 メニューバー

メインメニュー	サブメニュー	内容
ファイル	プログラム終了	本プログラムを終了します。
編集	パラメータ設定	パラメータ設定画面に切り替えます。
	ファームウェア書換え	ファームウェア書換え画面に切り替えます。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

3.2.2 パラメータ設定画面

メニューバーより「編集」 - 「パラメータ設定」を選択します。

DWOManager起動時は自動的にこの画面が表示されます。



「ユニット一覧取得(L)」ボタンを押すことで、設定可能なユニットを一覧表示します。一覧表示されるユニットは以下の2つの条件を満たしたものです。

設定ソフトと同一ネットワークグループ内 (1) にあるユニット。
 ユニットのモードが運転モードもしくは設定モードで動作しているもの。

- 1 運転モード及び設定モードでは、パラメータ設定にて設定したIP、サブネットマスクの値を使用します。PC側のIP、サブネットを変更しユニット側のネットワークグループに合わせてください。

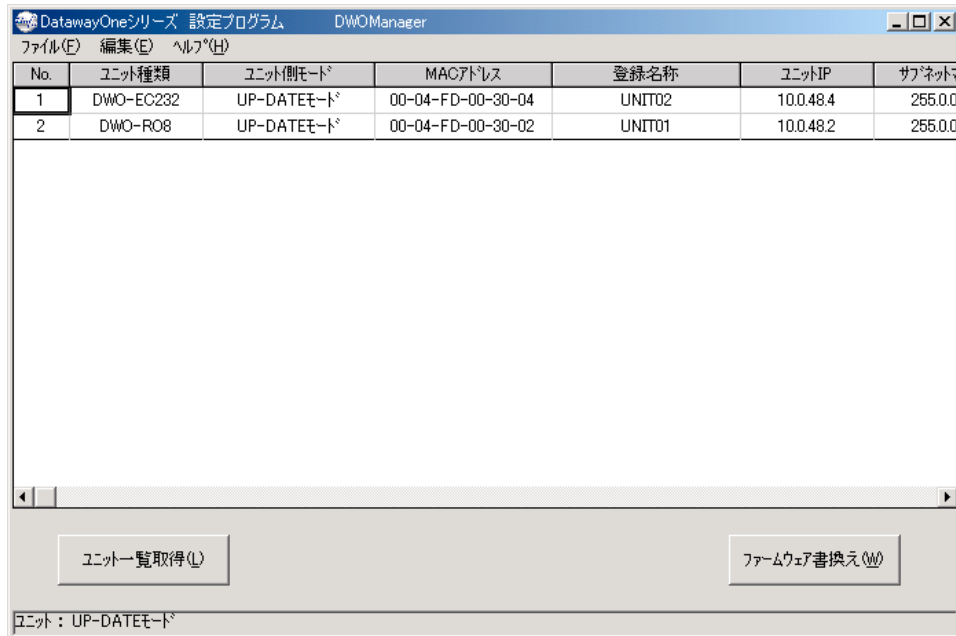
3.2.2.1 パラメータ表示部

項目	設定可能範囲	備考
No .	設定不可	接続ユニット台数の連番。 これ自体に意味はありません。
ユニット種類	設定不可	Datawayの型名を表示。
ユニット側モード	設定不可	Datawayの動作モード。
MACアドレス	設定不可	Datawayが持つMACアドレス。 複数Dataway接続時の識別用に表示。
登録名称	最大半角英数20文字	識別用名称（任意）。
reboot	ボタン	ボタン押下によりユニット本体のリセット実行
イーサネット設定部		
サーバー / クライアント	サーバー、クライアント	リレー出力ユニットはサーバー固定
ユニットIP	0 . 0 . 0 . 0 ~ 255 . 255 . 255 . 255	
ユニットポート	10000 ~ 65535	サーバーモード時のみ有効
サーバーIP	0 . 0 . 0 . 0 ~ 255 . 255 . 255 . 255	クライアントモード時のみ有効
サーバーポート	10000 ~ 65535	クライアントモード時のみ有効
サブネットマスク	0 . 0 . 0 . 0 ~ 255 . 255 . 255 . 255	
デフォルトゲートウェイ	0 . 0 . 0 . 0 ~ 255 . 255 . 255 . 255	
シリアル設定部		
ボーレート	1200 , 2400 , 4800 , 9600 , 19200 , 38400 , 57600 , 115200	RS232C時のみ有効
データ長	7 , 8	
ストップビット	1 , 2	
パリティビット	無し , 偶数 , 奇数	
フロー制御	無し , Xon / Xoff , RTS / CTS	
動作関連		
通信エラー時処理	自己リセット有 , 自己リセット無	通信エラー発生時に再接続を試みる為の 自動的リセット動作の確認。
通信監視	有 , 無	通信監視機能の有無設定。
監視用ポート	10000 ~ 65535	通信監視を行うポート番号。 通信監視設定有の時のみ有効。
監視周期 (秒)	1 ~ 60000	通信監視する時間周期。 この時間×3回の無通信状態でエラーとされる。 通信監視設定有の時のみ有効。
接続切替	有 , 無	接続が確立しているクライアント以外からの 接続要求があった場合の切替可否設定。 サーバーモード時のみ有効
ファームウェアバージョン	設定不可	内部ファームウェアのバージョン
ユーザー	最大半角英数8文字	telnetログイン時のユーザー名
パスワード	最大半角英数8文字	telnetログイン時のパスワード

注) 各設定の詳細は「Datawayシリーズ 取扱説明書」をご参照ください。

3.2.3 ファームウェア書換え画面

メニューバーより「編集」 - 「ファームウェア書換え」を選択します。



「ユニット一覧取得(L)」ボタンを押すことで、ファームウェア書換え可能なユニットを一覧表示します。一覧表示されるユニットは以下の2つの条件を満たしたものです。

設定ソフトと同一ネットワークグループ内(1)にあるユニット。
 ユニットのモードがUP-DATEモードで動作しているもの。

- UP-DATEモードでは、パラメータ設定にて設定したIP、サブネットマスクの値を使用しません。工場出荷時のIP、サブネットマスクの値を使用します。
 従いまして、PC側のIP、サブネットを変更しユニット側のネットワークグループに合わせてください。

3.2.3.1 メニューバー

項目	備考
No.	接続ユニットの連番 これ自体に意味はありません。
ユニット種類	Datawayの型名を表示
ユニット側モード	Datawayの動作モード
MACアドレス	Datawayが持つMACアドレス
登録名称	識別用名称(任意)
ユニットIP	ユニットのIPアドレス
サブネットマスク	ユニットのサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	ユニットのゲートウェイ
ファームウェアバージョン	内部のファームウェアのバージョン

3.3 プログラム操作方法

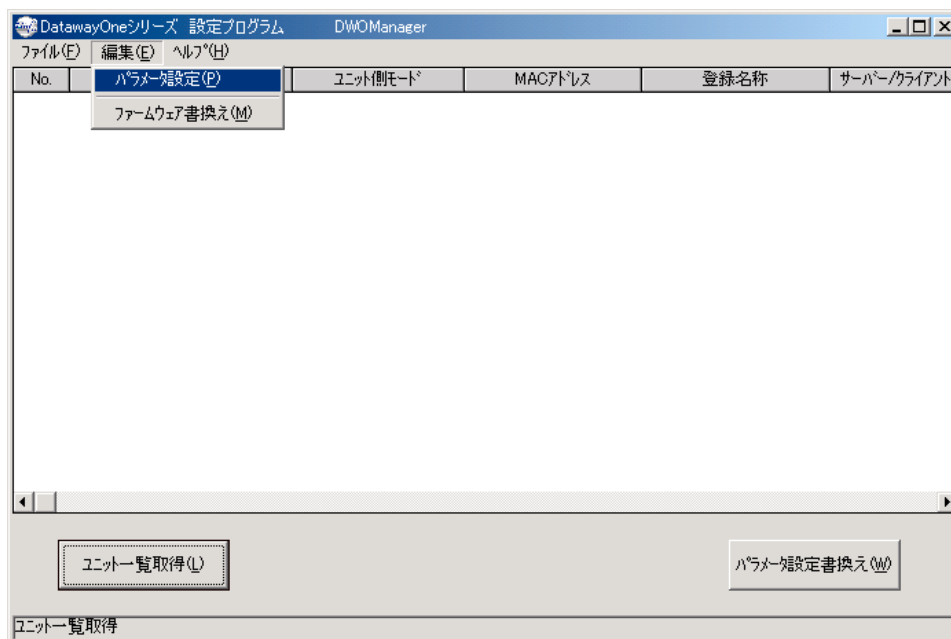
注意

本プログラム起動後の操作方法を示します。

注) 本プログラムを実装したパソコンのIPアドレスをDataway本体のIPアドレスグループ (IPアドレス、サブネットマスク) に合わせてください。異なるIPアドレスグループの設定ですと、パラメータが取得できません。IPアドレスグループは設定済みのIP及びサブネットマスクにより決定されます。

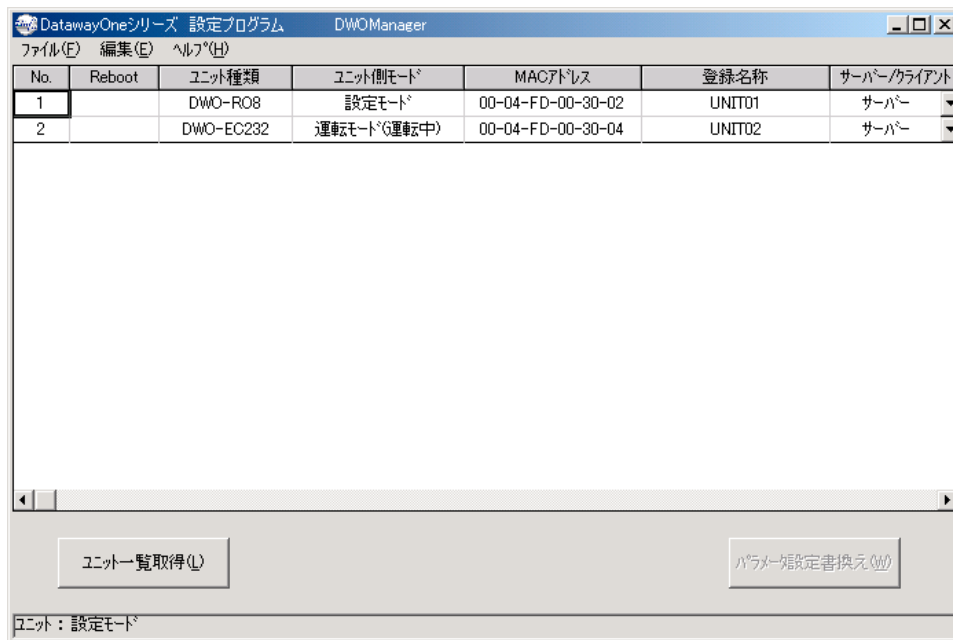
3.3.1 設定パラメータの変更

メニューバーより「編集」 - 「パラメータ設定」を選択します。



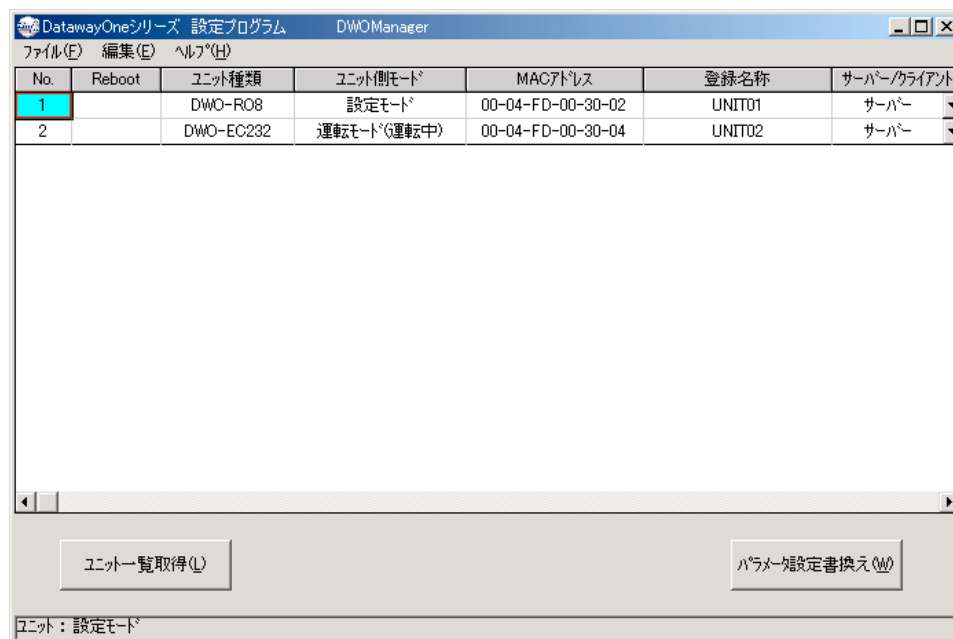
取得したパラメータ値の中で変更したデータがある場合、そのデータ部分をクリックします。編集モードになりますのでデータ値を変更してください。

データを変更するとその場所、及びNo. 欄がシアン色表示 になります。シアン色はデータが変更された箇所及びDatawayを表示します。



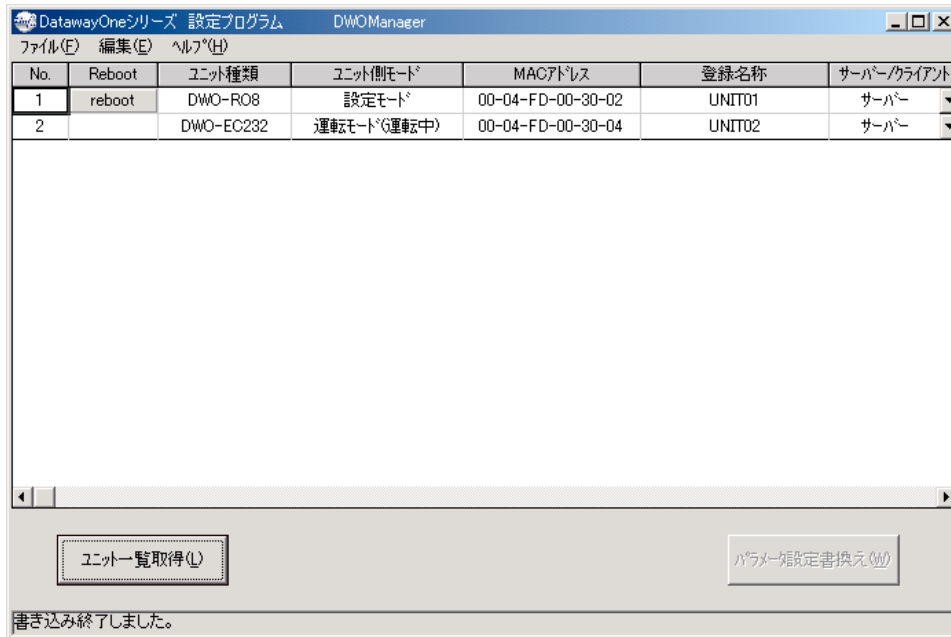
変更後、ウィンドウ右下にある「パラメータ設定書換え(W)」ボタンをクリックすることで、選択しているユニットに対して、設定パラメータを書換えます。

何らかの原因で書込みが失敗した場合、失敗したDataway本体のNo.欄が赤色表示となります。設定、配線等をご確認の上、再度「パラメータ設定書換え(W)」ボタンをクリックしてください。



パラメータの書換えが正常に終了するとシアン色表示が消え、左側にリポートボタンが現れます。

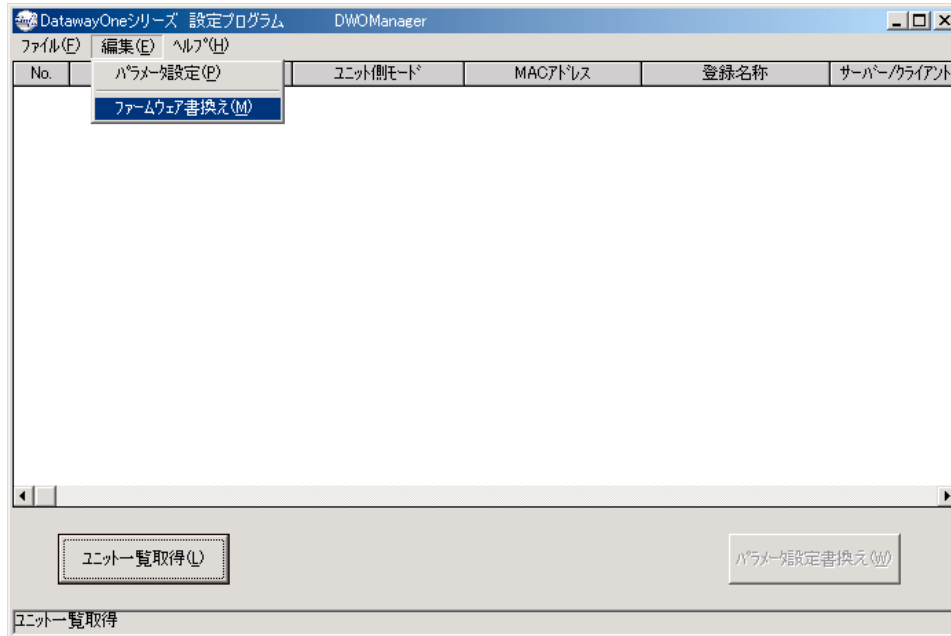
リポートボタンを押すと、ユニットを再起動します。（再起動しないと変更したパラメータが有効になりません）



リポートボタンを押すと、ユニットは再起動するため、一覧から消えます。一定時間後（10秒程度）、「ユニット一覧取得(L)」ボタンを押すと変更した値で一覧に表示されます。

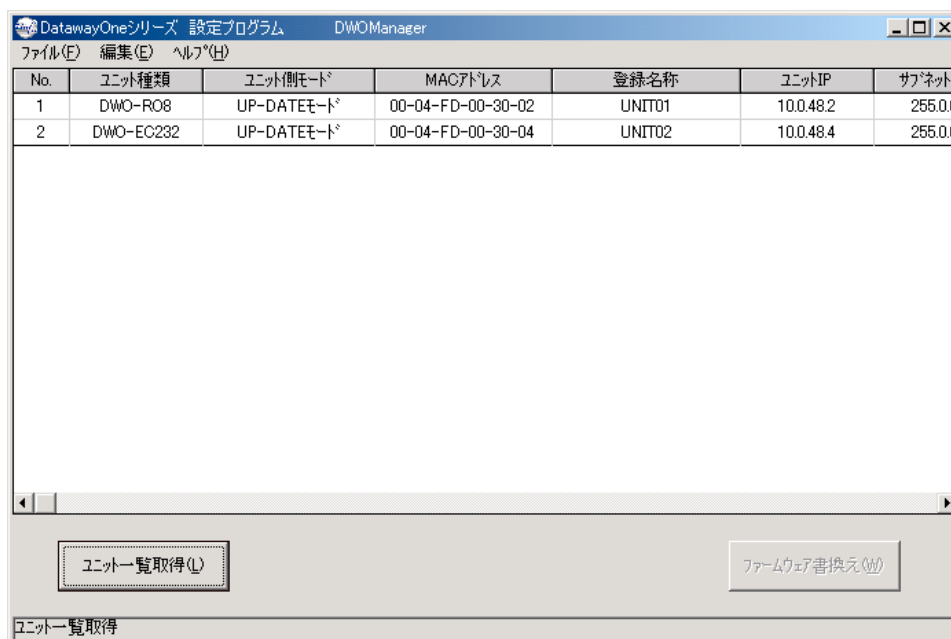
3.3.2 ファームウェア書換え

メニューバーより「編集」 - 「ファームウェアの書換え」を選択します。

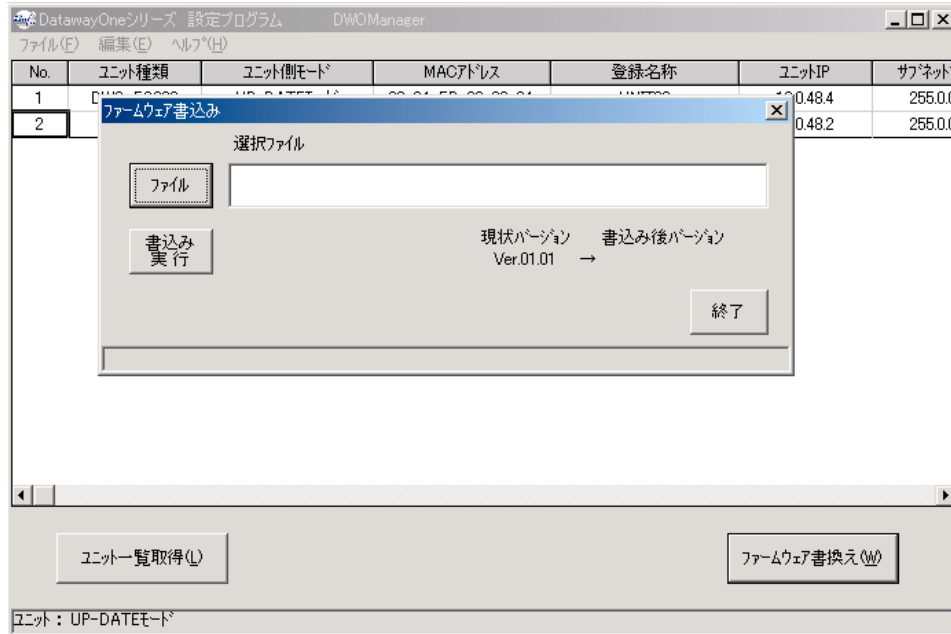


動作モードが「UP-DATEモード」になっているDataway本体に対しファームウェアの書込みを行うことができます。

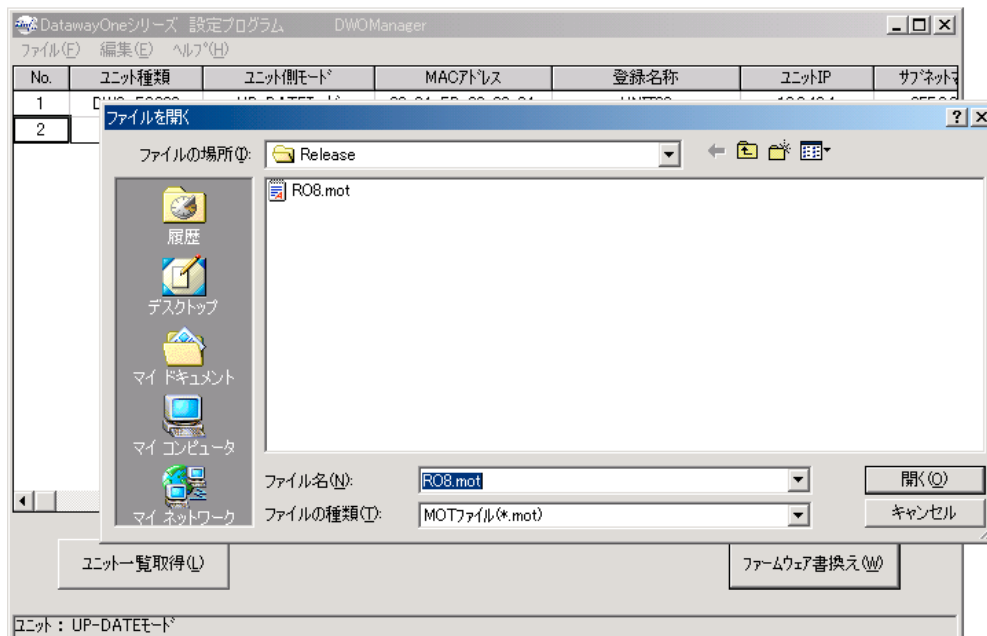
ファームウェアを書き換えたいDataway本体を選択（いずれかをクリック）し、ウィンドウ右下の「ファームウェア書換え(W)」ボタンをクリックしてください。



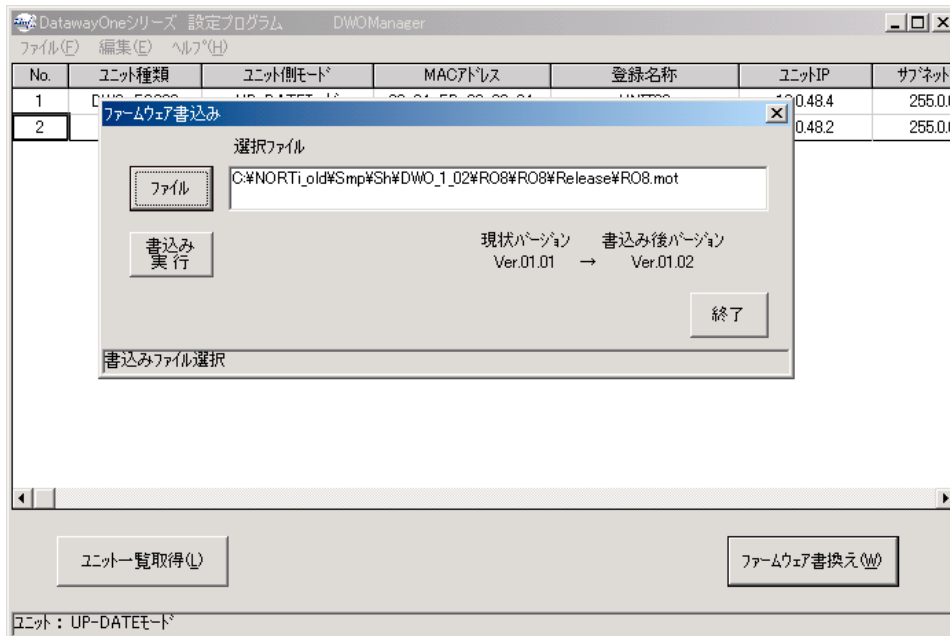
ファームウェア書き込み画面が始動、現在のファームウェアバージョンが表示されます。



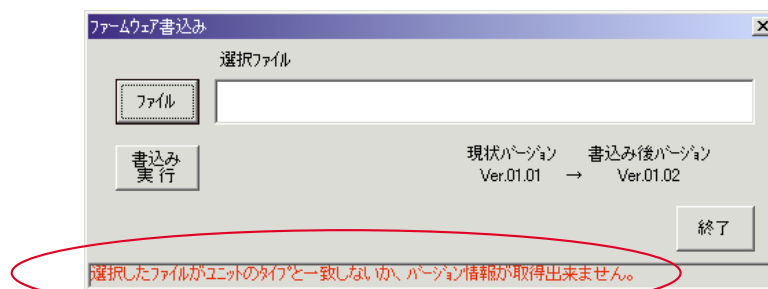
「ファイル」ボタンをクリックし、書き込むファームウェアのファイルを指定してください。選択できるファイルの拡張子は (*.mot) です。それ以外のファイルは選択しないでください。



書き込み後のバージョンを確認し、実行してよければ「書き込み実行」ボタンをクリックします。ここからDatawayへのファームウェアの転送が始まります。



「ファイル選択を間違えた場合」
 選択されているユニット用のプログラムでないと認識された場合や（型名不一致）、バージョン情報が取得できなかった場合はエラーメッセージが表示されます。その場合は再度適切なファイルを選択してください。

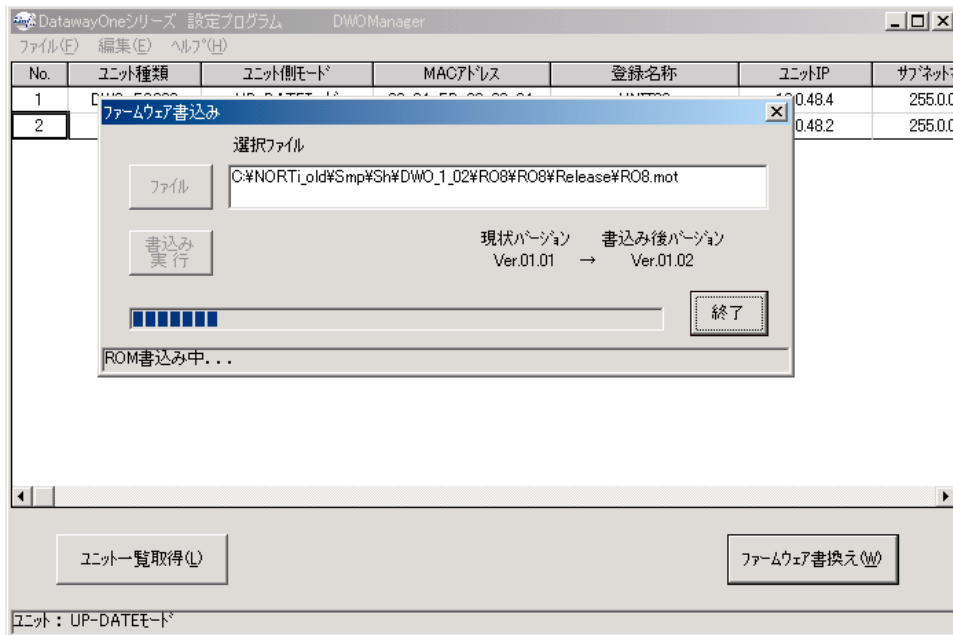


エラーメッセージ

処理は以下のような流れになります。

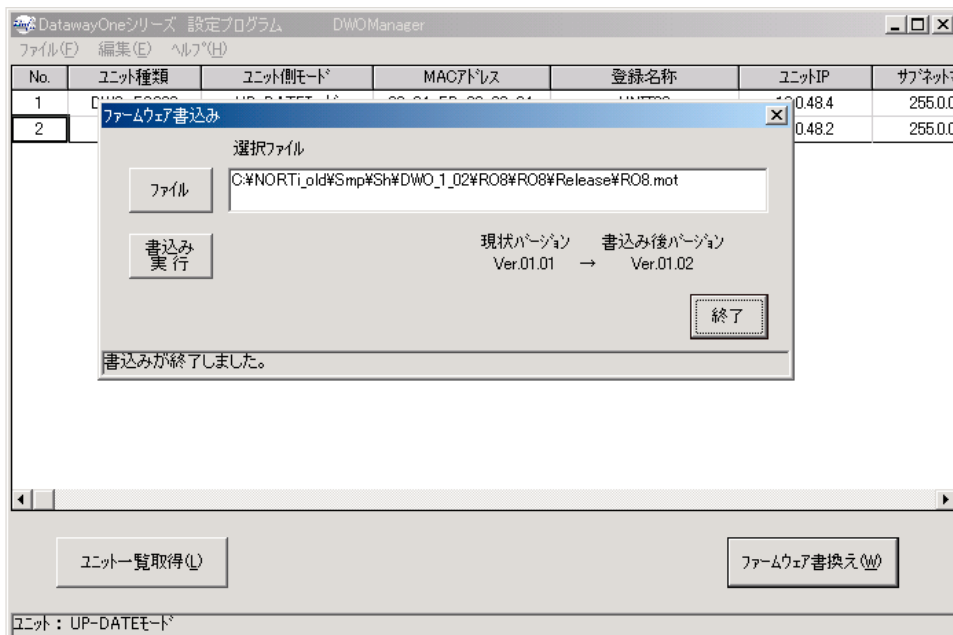
ファームウェア転送 ユニット内ROM初期化 ファームウェア書込み 終了

進捗状況をバー表示します。

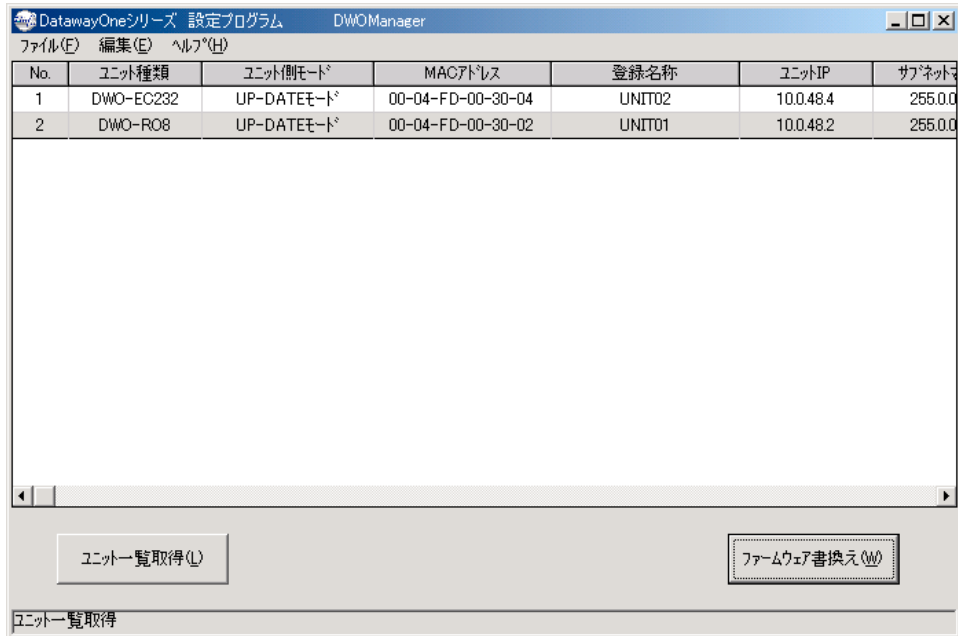


処理状況はコメント + バー表示されます。

「書込みが終了しました。」メッセージが表示されれば完了です。



書き込みが完了したユニットは表示欄がグレー表示となります。



4 製品サポート

製品サポートについては、FAX,もしくはE-MAILでのみ受け付けております。

お問い合わせの際には、製品名、使用環境、使用方法等、トラブル内容など詳細に記載してください。

ハードウェアの故障などにより製品修理をご依頼いただく場合、弊社作業上、IPアドレスなどの本体諸設定情報は初期化してのご返却となります。ご面倒ですが、必ずお客様で設定いただきました諸設定情報の控えをとっていただき、ご返却後お客様にて再設定を行っていただきますようお願いいたします。

また、場合によっては修理後MACアドレスを変更して、ご返却させていただく場合がございますのでご了承願います。

日本製禦機器株式会社 技術サポート窓口

FAXによるご連絡 FAX.072-661-4065

E-MAILによるご連絡 dwtec@nihon-seigyo.co.jp